



# 蒲原宿の家



▲蒲原宿の町並みの一部を担う 蒲原宿の古い建物はけて多くはない。しかし、建物以外にも地割りや道幅、建物のスケール、山や海との関係など、歴史を感じさせる町並みの要素は今でもたくさん残っている。



▲中庭から母屋をみる 中庭の大きさや各部屋との関係は改修前と変わらない。正面の大きな開口部は、食堂の掃きだし窓。



▲玄関から土間ざしに、みせのま、なかのま、おかってをみる 改修による大きな変更はない。補修は腐った土台の取り替え、構造補強、建具の繕い、壁の漆喰塗り、土間床のモルタル塗りなど。



▲土間を玄関と反対側からみる



▲土間からなかのまをみる



▲奥の食堂をみる



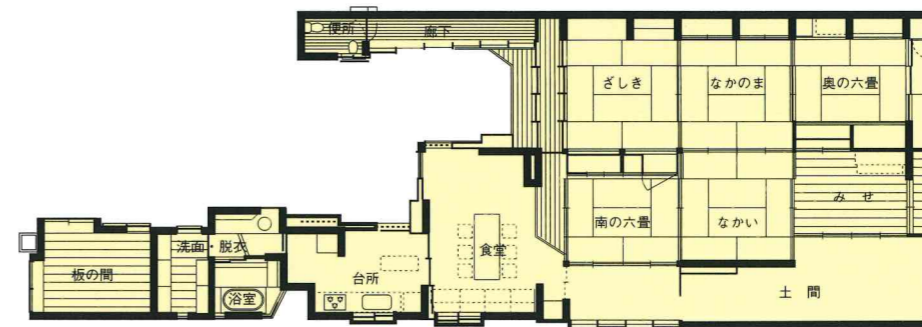
▲食堂



▲土間に設けられていた天窓

## 講評

旧東海道の蒲原宿で100年を超えて住み継がれて来た町屋。改装してのリニューアルではなく、保存の途を選択したのがこの住まいの大きな特徴である。それは建て主である老夫婦の一つの決意でもあったであろう。なぜなら、それは今日的な意味での暮らしの不便さとバリアに対するマニュアル通りではない克服を意味するからである。その選択は関係した技術者達の次の時代に引き継いで行こうとする情熱によって支えられ、そのことが古いまちなみの保存を可能にした。



蒲原宿の家		DATA
建築場所	庵原郡蒲原町	
完成年	平成15年12月	
規模	木造1階建 延べ187.78㎡	
種別	専用住宅	
設計者	(株) 自由工房静岡事務所 (静岡市呉服町)	
施工者	(株) 山崎工務店 (静岡市安倍町)	
写真提供者	(株) 山崎工務店	